

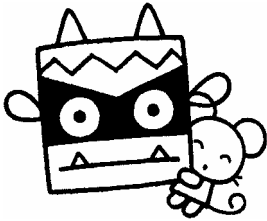


- ふ ぐ る ま -

図書館だより 155号
(2011.2.1)
三郷町立図書館

三郷町勢野西1-4-4
TEL/0745(33)3030
FAX/0745(33)3188

<http://www.lib.sango.nara.jp>
<http://mobile.lib.sango.nara.jp>

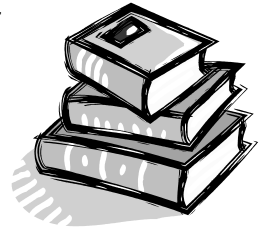


直木賞

第144回の芥川賞・直木賞の選考会が先頃行われ、各賞ともダブル受賞ということで4人が選ばれ、フランス文学一家に生まれた朝吹さんや5期連続候補の末に受賞となった道尾さんなど話題に事欠きません。

さて、芥川龍之介の名を冠した芥川賞は有名ですが、一方、直木賞の「直木」は誰?と言われるくらいあまり知られていません。これは大正から昭和初期にかけて活躍した「直木三十五」(なおきさんじゅうご)を記念して設けられた賞です。直木の代表作は『南国太平記』ですが、それ以外にも時代小説、大衆小説を書いています。図書館にもありますのでぜひ一度手に取ってください。

なお、ペンネームは本名の「植村」の「植」を二つに分けて「直木」にし、文筆活動を始めた31歳のときに「直木三十一」としてその後、年齢に合わせて数字を増やしていったそうです。



2月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

3月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

開館時間 月曜日～土曜日...午前9時半～午後7時

日曜日.....午前9時半～午後5時

斜線は休館日です

休館日

毎週水曜日,

2/11(金) 建国記念の日, 2/14(月)～20(日)特別整理休館日

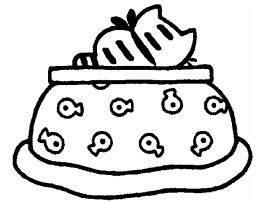
3/21(月) 春分の日, 3/31(木)館内整理日

女性画家特集 その

佐野洋子

1938年北京に生まれ、小学3年から日本に育ちました。デザインやリトグラフを学び、絵本・小説・エッセイ・翻訳・脚本と幅広く活躍しましたが、昨年2010年11月に亡くなりました。

絵本作家としての代表作である『100万回生きたねこ』は、人生・愛をテーマにした絵本で、子どもから大人まで親しまれています。エッセイを読んだ方も多いと思いますが、他の絵本も読んでみませんか。



絵は独特の味のある描法で、9キロもある自身の家の猫のことがエッセイ『あれも嫌い これも好き』に書かれているように、猫を題材にした作品は本当に多く、猫の飄々としたユーモラスで愛らしい姿に心温まります。

絵本 『100万回生きたねこ』『空とぶライオン』『わたしのぼうし』
『おじさんのかさ』『すーちゃんとねこ』『さかなーぴき なまのまま』
『ねこいるといいなあ』『わたし クリスマスツリー』『ねえ とうさん』
『だってだつての おばあさん』『サンタクロースはおばあさん』
『あのひの音だよ おばあちゃん』(全てEサ)

以上は氏作の絵本ですが、他の作者の絵本に絵をつけたり、外国絵本の訳もしており、絵本の作品は多数あります。

児童書では『あの庭の扉をあけたとき』(913サ)など、小説では『天使のとき』
『クク氏の結婚、キキ夫人の幸福』『そうはいかない』(全てFサ)、
エッセイでは『あれも嫌い これも好き』『シズコさん』『神も仏もありません』
『覚えていない』『役に立たない日々』『友だちは無駄である』など(全て914.6サ)。

画文集として『あっちの女 こっちの猫』(726.5サ)があります。

(- 孤独とは何か。底なしの自由。 -

- 一瞬が永遠なのか。一生が一瞬なのか - 本文より)

エッチングにモノクロで濃淡をつけた絵とともに、そこに書かれた文には氏の人生観がつまっています。

また、詩人である元夫の谷川俊太郎の詩集に絵をつけたものもあります。

『女に - 谷川俊太郎詩集』(911.56夕)

『いち』(Eサ)

堀 文子

画家としての活動のほかに児童雑誌『キンダーブック』『こどものとも』に作品がある堀文子は、1918年生まれの日画家。「花の画家」とも呼ばれており、1981年より軽井沢にアトリエを構え、ひとり、自然の中の「生」を見つめ、モチーフにした作品が多数あります。2000年、82歳にして、幻の高山植物ブルーポピーを追い求め、ヒマラヤ山脈の高地を踏破したことはテレビでも放映されました。その強く自然な生き方に清しさを感じられた方も多いのではないのでしょうか。

氏の言葉は深く、それは、画文集などに多く書かれています。凜とした言葉に背筋が伸びます。

『時の刻印 - 堀文子画文集』(721 . 9ホ)

『ひとりで生きる - 堀文子の言葉』(721 . 9ホ)

『ニッポン・ビューティ - 本物の女たちの美しい生き方』(281 . 04シ)

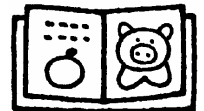
(- 私は人として1mmでも上昇して死にたいんです。だから自分を甘やかすわけにはいきません。…ラクって鈍いでしょう？鈍感は盗みより嫌い(笑)。

その点、自然は鋭敏で、自分の仕事を怠りません。 - 本文より氏の言葉)

『こどものとも - ビップとちょうちょう』(Eコ) 与田準一/作・堀文子/画

「こどものとも」は1956年に始まる月刊物語絵本です。その創刊号に氏の絵が起用されました。一流の著者と画家が子どもたちのために全力を注いでつくられました。

絵本は豊かな言葉の宝庫。絵本は大人が読んであげましょう。
絵本の世界を子どもたちにたっぷりと味わせてあげましょう。



特別貸出のお知らせ

図書館資料一斉点検のため下記の期間、休館になります。

2月14日(月)～20日(日)

このため、特別貸出をしますので、ご利用ください。

図書資料 3週間貸出 2月1日(火)～13日(日)

視聴覚資料 2週間貸出 2月7日(月)～13日(日)

2月の行事予定

おはなし会 (おはなしルーム)

6日・13日・27日(毎週日曜日です。)

小さい子ども向けのおはなし - 午前10時30分~10時50分

大きい子ども向けのおはなし - 午前11時~11時30分

土曜の午後のおはなし会 (おはなしルーム)

26日(土) 午後2時

読書講演会

「電子書籍時代到来!?!」

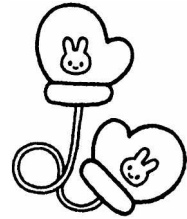
13日(日) 午前10時より(9時30分開場) 視聴覚室

講師: 湯浅 俊彦 氏 (夙川学院短大准教授)

フロアーコンサート

26日(土) 午後4時より おはなしルーム前

演奏: ブルースカイ



図書館上映会 (視聴覚室) 土曜日・午後2時開演(1時30分開場)

5日(土) 「**飢餓海峡**」(1965年) 183分

監督: 内田 吐夢 主演: 三国連太郎、左 幸子



12日(土) 「**兄とその妹**」(1939年) 101分

監督: 島津 保次郎 主演: 佐分利 信、桑野 通子

26日(土) 「**第三の男**」(1949年) 105分

監督: キャロル・リード

主演: ジョセフ・コットン、オーソン・ウェルズ

生涯学習室開室のお知らせ

と き: 毎週土曜日・日曜日と2月21日(月)~3月1日(火)

(休館日を除きます)

スマイル~編集後記

「東風」は、春を呼ぶ風……。春は東からやってくる。だから東風は

春を呼ぶ風と昔の人はそう考えたようです。

~東風吹かば におひおこせよ 梅の花 主なしとて 春な 忘れそ~(菅原道真)

春告草の梅の花を東風が咲かせていくのです。

まだまだ寒いですが、見上げた梅の木の枝には、花芽がもう膨らんでいますよ。

